

## 入学式 式辞

空気は澄んで、陽の光は明るく万物を照らし、全てがはつきりと鮮やかに見えてくると言われる二十四節気の一つ「清明」も過ぎ、砂子坂から校門にかけての桜並木も、葉桜になろうとしています。この新緑まぶしい佳き日に、川西中学校に入学された、三十五名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

また、ご多用のところ、PTA代表 北島功一（きたじま こういち）様をはじめ、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和三年度 第七十一回 福井市川西中学校入学式を挙行できますことに、学校を代表しまして、厚くお礼申し上げます。



さて、今ほど、新入生の皆さんは、担任の先生の呼名に対して、引き締まった表情での返事・起立によって、この伝統ある川西中学校の生徒の一員としての第一歩を踏み出しました。折しも、今年度から、中学校は新学習指導要領の完全実施となります。その主旨は、将来の予測が困難な複雑で変化の激しい社会の中を「たくましく生き抜いていく力を育成する」というものです。昨年の今頃は、約3か月間にも及ぶ臨時休業中でした。学校再開後も、コロナ禍にあって、何が正解か、誰も分からない中を、最適解・納得解を求めて試行錯誤の繰り返しだったことと思います。「ピンチはチャンス」と、言うとおり、皆さんは環境の変化に柔軟に対応し、いわゆる「新しい生活様式」を取り入れるなど、一足先に新学習指導要領を実施してきました。そうして、たくましくなりつつある皆さんに、川西中学校での生活で、特に心がけてほしいことを二つお話しして、お祝いの言葉と致します。

一つ目は、「文武両道を目指す」という事です。この3年間は、子供から大人への「自立」のためのエネルギーが、一人一人の皆さんの体の奥底から、止めどなく湧き上がってくる時期です。例をあげるならば、声変わりやがっしりとした体つき。このとてつもなく大きなエネルギーを、学業と部活動にしっかりと向けてほしい。その過程には、困難が付きまとい、逃げ出したくなることもあるでしょう。そんな時は、目の前で歯を食いしばっている先輩の姿を手本とすることです。困難の克服のためのヒントが、必ずや見つかるはずです。地道に努力を積み重ね、中学生としての力量を少しずつ確実に高め、3年後には、先輩のように、大きな成果を、はつきりと形に現して欲しいと思います。

二つ目は、「望ましい生活習慣を確立・継続する」という事です。何も難しいことを考える必要はありません。「早寝・早起き・朝ご飯」を3年間継続するということ、睡眠時間を確保するという事です。1日、勉

強すると、相当の量の情報が、脳の中に取り込まれます。たくさんもらった刺激的なおもちゃが、部屋中にところ狭しと散らばっているイメージです。これを、次の日に使いやすいように整理・整頓するのが睡眠です。あの、百マス計算で有名な立命館小・中学校の影山先生は、一番確実な学力向上策は「睡眠時間の確保」と明言しています。また、体育や部活動でトレーニングをすると、体中の筋肉の細い繊維が、引きちぎられた状態になります。これを元通りに修復するのも睡眠です。この修復も100%元の状態に戻るのではなく、ちよつと戻り過ぎてしまう。これがいわゆる「超回復」で、これによって体力や技能がめきめき向上するので、つまり、先に述べた「文武両道」を成り立たせるものは、望ましい生活習慣、とりわけ睡眠時間の確保です。新入生の皆さんは、肝に銘じておいてください。

保護者の皆様、お子様のご入学を、心から歓迎いたします。皆様の大切なお子様の成長のため、3年間、

丁寧な支援して参ります。とは申しましても、未曾有のコロナ禍や、グローバル化、デジタル化の進展に伴う、複雑かつ急激な社会変化の中を、主体的に生き抜く子供たちの効果的な教育には、家庭と地域、学校の強い連携・協力が欠かせません。教職員一同、一丸となって、全力で教育に邁進して参りますので、保護者の皆様のご理解とご協力のほど、切にお願い致します。特に、お子様の生活習慣には、保護者の方の生活習慣が如実に反映されていると言われていきます。中学校入学を機に、各家庭の生活習慣を見つめていただけるとありがたいです。

川西中学校は、中学生としての力量を高める鍛錬の場です。修行の場です。本年度の生徒数は百二十三名。

一人一人が明確な目的意識を持ち、充実した中学校生活になることを期待し、また、ここに集っていただいた方のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、式辞と致します。

令和三年四月八日

福井市川西中学校長

齊藤浩之

